

国立大学法人島根大学役員会（第410回）〈議事要録〉

日時 令和6年7月16日（火） 14:00 ~ 15:58

場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）

出席者 大谷学長，増永理事，松崎理事，金山理事，椎名理事，大川理事，宮脇理事，上野理事

オブザーバー 千家監事，栗原監事

〔陪席：事務局次長，企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，松江地区学部等事務部長，医学部事務部長，監査室長事務取扱〕

議決事項1 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について

- 増永理事から資料に基づき，地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について説明があった。
- 千家監事から，「産々官学々連携もの創りコンソーシアム」の「産々」及び「学々」と記載した意図について質問があり，学長から，島根創生モデルの実現のために多くの産業を対象としたコンソーシアムであること，及び国内外の複数の教育・研究機関との連携強化を表しているとの回答があった。
- 審議の結果原案どおり議決された。

議決事項2 広島オフィスの閉所について

- 増永理事から資料に基づき，広島オフィスの閉所について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項3 化学物質管理規程の一部改正について

- 大川理事から資料に基づき，化学物質管理規程の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項4 「動物実験規則」、「動物実験委員会規程」及び「キャンパス動物実験専門委員会規程」の一部改正について

- 学長から資料に基づき，「動物実験規則」、「動物実験委員会規程」及び「キャンパス動物実験専門委員会規程」の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項5 監事監査規程の一部改正について

- 千家監事から資料に基づき，監事監査規程の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項6 サイバーセキュリティ対策等基本計画の令和5年度進捗状況について

- 松崎理事から資料に基づき，サイバーセキュリティ対策等基本計画の令和5年度進捗状況について説明があった。
- 宮脇理事から，本学では研究に係る情報等多くの情報を保有していることから，セキュリティ対策を高める必要があるとの意見があった。
- 栗原監事から，未達成となった項目の原因分析及び緊急度に即した対策の実施状況について質問があった。松崎理事から，原因として予算と人員の不足が考えられるが，優先順位を付して対策を実施することとしており，なかでも「3. リスク対策」を最優先で進めるとともに，学部で管理している項目について重点的に進捗状況を確認するとの回答があった。

- 審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項 7 国立大学法人島根大学と学校法人瓜生山学園京都芸術大学との包括的連携に関する協定の締結について

- 学長から資料に基づき、国立大学法人島根大学と学校法人瓜生山学園京都芸術大学との包括的連携に関する協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項 1 定期モニタリングの実施について（内部通報・外部通報の体制）

- 金山理事から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（内部通報・外部通報の体制）説明があった。
- 椎名理事から、通報のあった内容については原則として調査を行うとあるが、どのような場合に例外となるのかとの質問があり、金山理事から、例えば、かなり過去に遡るような案件で当事者の不在等により追跡が困難な場合に対応できない可能性はあるとの回答があった。続けて金山理事から、部局内解決が可能な場合は、通報によらず、当該部局内の情報伝達ルールにおける自浄作用によって解決していくことが望ましいと考えるとの発言もあった。
- 栗原監事から、正当な理由がない限り調査を行うと定められていることから、追跡不能を以って正当な理由があると判断して調査を行わないのは適切と言えるのか疑問があるとの意見があった。
- 宮脇理事から、大学の運営上、健全なガバナンスのためには健全な通報制度は必要であり、初動体制を整え、明確な判断基準を持って対応することが重要との意見があった。
- 学長から、通報が寄せられるということは何らかの問題が存在しているということであり、職員が協力して早めに解決にあたることが大切と考えるとの発言があった。
- 千家監事から、「正当な理由」については消費者庁の「公益通報者保護法に基づく指針」に規定されており、拡大解釈とならないよう注意が必要との意見があった。また、学内で早い段階に適切に対応しておくことが結果的には組織のためになると考えるとの発言があった。

報告事項 1 令和 6 年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の選定結果について

- 増永理事から資料に基づき、令和 6 年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の選定結果について報告があった。

報告事項 2 IR分析に係る基礎データの報告について

- 松崎理事から資料に基づき、IR分析に係る基礎データの報告について報告があった。

報告事項 3 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。

報告事項 4 令和 6 監査年度 内部監査計画

- 監査室長事務取扱から資料に基づき、令和 6 監査年度 内部監査計画について報告があった。

報告事項 5 令和 5 年度公的研究費等の不正使用防止に関する行動計画に係る実施状況の検証について

- 大川理事から資料に基づき、令和 5 年度公的研究費等の不正使用防止に関する行動計画に係る実施状況の検証について報告があった。
- 栗原監事から、実行計画の中に不正使用をチェックする機能はあるのかとの質問があり、大

川理事から、実行計画は公的研究費の不正使用防止に向けた職員の意識を高めることを主眼としており、チェックについては日々の会計業務において行っている他、定期的な監査においても実施しているとの回答があった。

- 金山理事から、e-ラーニングの受講環境が Moodle に変更されたことにより、受講状況の管理方法が課題となっているとの意見があることについて質問があり、大川理事から、受講者は統合認証システム経由でログインすることから個人の識別が可能であり、担当部局において受講状況を把握し、各部局へ受講状況を通知するとの回答があった。

報告事項6 公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和6年度第2四半期）について

- 大川理事から資料に基づき、公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和6年度第2四半期）について報告があった。

報告事項7 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。

その他

- 宮脇理事から、現場の教員は教育・研究・診療など一手に担っていることから、適切なサポートを付けたり各分野で役割を分担するなどの体制を整備することが重要であるとの意見があった。